

Business Gallery

第208回

(株)リトルバード

— ECOのスペシャリスト

今回紹介する(株)リトルバードは、ECOのスペシャリスト。小嶋社長の創意工夫で、費用対効果が出る有効なECO技術を提案している。

具体的には①無冷暖房システムの企画・設計・開発・施工・研究、②農業に関する省エネシステムの企画・設計・開発・施工、③自然エネルギー、未利用エネルギーの活用・有効利用、④省エネルギー診断・省コスト診断・赤外線建築物診断、⑤新築建築物における省エネルギー設計・企画・施工、⑥無機質石英ガラス SK-COAT企画・施工、⑦コンストラクションマネジメント、⑧廃棄物の有効利用のマネジメントなど多岐にわたる手法でECOを実現する。

小嶋社長は高校・大学と建築を学び、ゼネコンに5年間勤務した後、千葉の医療法人グループの病院・福祉施設で冷暖房・空調・電気・照明など設備関係の管理を任される。

「大きな病院では電気料金などエネルギーコストが相当かかります。それをいかに削減するか。もともと建築が好きで、設備関係も自分で省エネになるような運用や方法についていろいろ研究を重ねました」と小嶋社長は話す。

やがて他の病院からも引き合いが入るように



「省エネ効果を数値や金額でご提示します」と話す小嶋社長

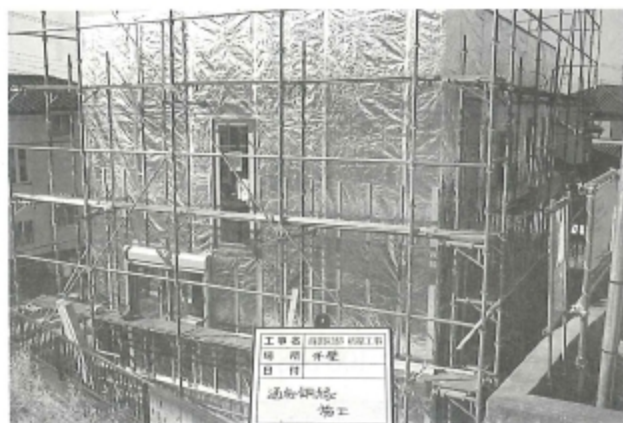
なり、その流れで独立したのが当社だ。

代表的な当社の技術が独自の無冷暖房空調システム。「今年特許がおりたのですが、建物に全熱交換機を導入し、外壁と内壁の間に空気が通るような構造とすることで、外気と中の空気をコントロールするシステムです。これで現状のような冷暖房装置がなくても年中快適な室温が保たれます」(小嶋社長)。茨城の福祉施設などで実績があるほか、新築戸建て住宅も2棟施工している。

もうひとつの事例が埼玉県内のある温浴施設。「男女それぞれ8種類の湯があり、湯の循環のための大型ポンプが約20台あるのですが、この電気料金が年間600万円もかかっていました。このポンプの周波数を1台1台細かく制御、適正運転させることで約65%の省エネを実現しました」(小嶋社長)。

こうしたさまざまな省エネ技術を総動員した施設を来年春日部市内に建設する。

「太陽光、太陽熱や井戸水を利用して電気、水を自給自足する施設を作ります。赤外線のある周波数帯は植物の育成に有効なのですが、夏イチゴなどの栽培研究も行う予定です」と話す小嶋社長、完成が待たれるところである。



当社が新築施工した無冷暖房住宅

企業概要

(株)リトルバード

企業コード：967985785

所在地：春日部市大倉307-48

代表者：小嶋 孝之氏

設立：2010年(平成22年)3月

年売上高：約5600万円(2015年2月期)

URL：<http://www.littlebird-eco.co.jp/>